

平成 30 年 2 月 関町図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 15 時 40 分から 16 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 関町図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「関」)</p> <p>関町図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (2)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 12 月から飲食コーナーの運用を変更しているがどんな様子か。</p> <p>→ (関) 飲食以外の利用者に使用されることが多かったため、飲食優先から飲食専用に運用を変更した。昼間は常に座席が埋まっている。親子連れや若いグループの利用が見られ、本来想定していた利用がされている。</p> <p>(光) Wi-Fi に対する苦情はあるか。</p> <p>→ 接続方法の質問はあるが、速度や、接続できないといった苦情はない。</p> <p>② 一般事業について</p> <p>(光) 12 月の一般展示「名著・名作を再発見」について</p> <p>→ (関) 最近所蔵されたもので貸出回数が 0 から 1 回の資料を集めて展示し、利用者と資料の出合いや再発見の場とした。結果としては、77 冊展示し 78 回の貸出しにつながったため、展示の意義と有効性が確認できた。書架に入ってしまうと借りられないような専門的な資料もよく借りられた。今回の結果から、改修工事による休館中に所蔵された資料が利用者から見出されず、借りられていないのではないかとといった課題が浮かび上がった。</p> <p>(光) 12 月に実施した「関町福祉園へ出張おはなし会」について</p> <p>→ (関) 福祉園へは初めて実施した。近隣施設との連携と障害のある方へのサービスについて何かできないか両方を考えて、福祉園に声を掛け実現した。事前に打ち合わせを行い「クリスマス」をテーマに絵本、大型絵本、紙芝居の読み聞かせ、手遊びを実施した。</p> <p>(光) 1 月実施の「本の福袋」について</p> <p>→ (関) 一袋 2 冊入りとし、一般向け 45 袋、児童向け 45 袋を用意し、一般向け 42 袋、児童向け 39 袋の貸出があった。袋ごとにテーマを決め、テーマに沿った資料を選定した。1 日に展示する個数は事前に決めておき、無くなった場合は翌日改めて追加した。日数は、土日を含めて 3 日間とした。1 日目、2 日目はあっという間になくなり、3 日目は少し余りが出たので、日数や袋数の設定はちょうど良かったと感じている。</p> <p>(光) 1 月開催の「暮らしの講座 あなたのライフプランと保険のこと、考えてみませんか？」の参加者が少なかったようだ。</p> <p>→ (関) 事業は、ライフプランと保険に関する基礎知識を講師に話してもらうもの。特定の保険商品の宣伝にならないよう入念に講師と調整したが、利用者からは「保険」という言葉だけで警戒されてしまい、参加者が少なかった。しかし、参加された方の反応は良かったため、周知の方法に問題があったと思う。事業名の工夫等も必要と感じた。</p>

③ 児童サービス事業について

(光) 12月、1月の学校支援の状況は。

→ (関) 年末年始にかけては、1月に読書旬間や読書週間を実施する小学校が多くあったので、読み物を中心に年末年始のテーマを組み込んで団体貸出を行った。また、学年末に向けて調べ学習や先生の資料の支援を行った。

(光) 家庭での読書推進向上に向けた考えについて

→ (関) 学校図書館を利用して家庭での読書活動をサポートすることは可能だと感じている。家庭に配付している図書館だよりでは、先生に相談の上、お薦めの本を掲載し、掲載した本の展示を図書館で行っている。親子で来館するきっかけになるので、テーマを工夫し、親子で楽しめる本を紹介するのも一つの方法だと思う。また、支援員と図書館の児童・青少年担当の連携が今まで薄かったので、今後、図書館の事業や展示で学校の授業に合わせたテーマを取り上げる等、連携の方法について模索している。

(光) 12月、1月開催の「図書館利用者向け託児サービス」について

→ (関) 12月に初めて開催し、子育て世代の利用者が、ゆっくりと図書館を利用できる機会とした。申込みを開始するとすぐに定員に達し、参加された方からは、好意的な意見が多く、需要の高さを感じている。次回は、一般向けの絵本の講座と併せて実施する予定。

→ (光) 会議室を会場としているが、音漏れの状況は。

→ (関) 音は漏れているが、受け入れられているのか、苦情は今のところない。

(光) 12月の石神井西中学校の調べ学習支援について

→ (関) 1年生の校外学習が11月に実施された関係で、事前学習として関連資料の団体貸出しを行い、今回は事後学習として公共図書館を利用した調べ学習支援を行った。視聴覚室を会場にクラス単位で来てもらい、図書館の利用案内や資料の探し方をレクチャーした。その後で、実際に図書館を利用してもらい、生徒が自分で選んだ資料を使って、資料をまとめたり、学習したりした。

(光) 1月開催の「丸山ゴンザレス講演会」について

→ (関) 青少年世代を対象にした事業で、ジャーナリストの丸山氏を招き、「夢をかなえる」をテーマに、現在の仕事を選んだ経緯や国内外のこれまでの経験を中心に講演を行った。今までの考えが通用しない場所に行って気付くことや、自分の中の常識が変わることによって世界が広がる、可能性を広げるということを話題にしてもらった。10代、20代の若い方の参加も多く、アンケートでは、まったく図書館を利用していない方の参加も11人あり、事業の手応えと今後へつながる可能性を感じている。講師に関連のある図書館資料の展示・紹介、ブックリストの作成・配布も行った。

(光) 1月実施の青少年の特集展示「ブラインドブック」について

→ (関) ティーンズコーナーでは、本の福袋の代わりに「ブラインドブック」を実施した。タイトルがわからないよう、手作りのカバーを付け、福袋と同じように、普段手に取らない資料との出会いを目指したもの。バラエティのあるテーマを多く用意したが、趣旨がよく伝わらなかったことや、興味のある子供たちは、1階に展示した福袋を借りてしまったこともあり、2階の「ブラインドブック」の貸出しは少なかった。